

医療事故・ミス隠す心理を検討する

酒井亮二

国際医療安全推進機構(MSPO)理事長

国際医療リスクマネジメント学会(IARMM)理事長

事故・ミス隠す行為が世界の医療界には跋扈している。

事故・ミス隠す心理はなぜ発生するのだろうか

- 1) 懲罰
- 2) 賠償金
- 3) 罪の意識
- 4) 周囲の白眼視
- 5) 自己評価の高さの否定
- 6) 名誉心問題
- 7) その他

金の問題、職場の風通しの良さ(=心理的安全性)だけでは根本的に解決できない。

厳格なプロフェッショナル主義とそれよる強固なヒエラルキーの職場であっては、罪の意識、職業的自尊心問題、名誉心問題をどうすればよいのか？ 医療安全教育、カウンセリング、そして危機における組織の回復力(=レジリエンス)の問題であると言える。

事故・ミス隠す心理をより深く理解することが医療界の隠蔽体質の1つの転換になる。